

3Dデータ活用 小松市職員学ぶ 市役所で研修会

小松市技術職員研修会は19日、市役所で開かれ、市職員25人が3Dデータを用いるICT(情報通信技術)施工の方法などに理解を深めた。

総合建設会社の吉光組(同市)の道勇治専務が講師を務めた。道専務は工事現場の写真に3Dデータで作った建物の立体図面を合成させる手法を説き、「完成図がイメージしやすくなり、施工者と設計者で計画を進めやすくなる」と利点を説明した。

北陸電力小松支店の社員は電気の省エネルギー化について説明した。